

平成22年度一般会計

補正予算の審議から

Q & A
【抜粋】

質問 参議院選挙の期日前投票所の開始日が場所によって違う理由について伺います。

答弁 国からの委託金が削減されたこと。県選管からも経費削減の通知を受けていること等から過去の利用率の高いメイプルを6月25日から、各総合支所を7月1日から投票日前日までとしたものです。

質問 奥州市になって民生委員が減少するのはと心配されていますが状況について伺います。

答弁 厚生労働省、県知事、保健福祉部長要望を行った結果、県から「現状の定数を維持する」との通知を3月末に受けております。

質問 視覚障がい者用の活字、文章の読み上げ装置の設置する場所と音声コードをどのような文書につけるのか、障がい者への周知方法について伺います。

答弁 今年度は3台の購入を予定しており本庁、江刺、前沢の各総合支所に設置します。胆沢、衣川の総合支所には来年度設置する予定です。文書については福祉関係の案内、通知等の文書から始めて

まいります。周知については市内の視覚障がい者団体等を通じて啓発、通知を行ってまいります。

質問 児童センターの予算書、決算書が10カ所まとめて作成されており、それぞれ内容が違うので個別につくられるべきものではないか伺います。

答弁 ご指摘のとおりであり指定管理者と確認しながら今後のあり方について検討してまいります。

質問 市民公益活動団体支援事業に対する投票総数が少ない、また無効票が100票ほどあったことについて改善や見直しをどのように考えているか伺います。

答弁 各団体とも目的に添った活動にエネルギーを使えるようなシステムがよいのではとの意見が出されており、今年度の反省点と各団体からの意見を聞きながら仕組みについて検討してまいります。無効票のほとんどが同じ団体への二重投票であります。

質問 市長はどの事業に重点的に予算配分をしたのか伺います。

答弁 住民の皆さんが、やる気が

起きる事業、活性化をはかる事業、住民の皆さんが行う事業に重点を置きました。主な事業として、まちづくり推進化のコミュニティ関係、防災まちづくり事業、商業、観光活性化事業、野菜振興、ブランド対策事業、医療給付の対象年齢の拡大、マイアネタウンの土地区画整理事業等が挙げられます。

質問 公園管理一元化の進捗状況について伺います。

答弁 公園には、都市公園、農村公園、各部が所管する公園全体で250前後の公園があります。平成21年に結論が出ず、各関係部署で協議検討中です。

質問 市営住宅の駐車場は、1台しか駐車できない状況です。駐車場の確保はどうなっているのか伺います。

答弁 1世帯1台となっております。水沢区は自治会会長にお願いしています。他区については入居の際に基本的な考えを申し上げています。個人対応している方もいます。

質問 市営住宅に入浴施設が整備されていないところがありますが、今後の整備について伺います。また、個人住宅改修に10万円公費補助（税金）を投入する効果について伺います。

答弁 市営住宅を適正に管理し、計画的に修繕します。また個人住

宅リフォーム制度の中でさまざまな経済効果、地域雇用の活性化が見られます。

質問 交通安全ドットライン標示について4月に町内会長、区長より要望されておりますが現在どうなっているか伺います。

答弁 交通安全施設整備は、地域要望を受け計画的に行うものと緊急に行うものがあります。

※ドットライン：交差点において優先となる道路を標示する太い破線のことである。

質問 地域活力基盤創造交付金（5億7000万円）が減額され、社会資本整備総合交付金に修正されていますが、なぜか伺います。

答弁 国では、補助金を組替えし、社会資本整備総合交付金に一本化しています。

質問 子ども読書活動推進事業に奥州市ではどのように取り組むのか伺います。

答弁 奥州市は読書については全国平均を上回っていますが、中学校は学校行事、地域活動、クラブ等たくさん行事のため少し下がっています。読み書き等向上のため平成22年から平成24年にかけて読書活動推進事業委託金を使用し、計画的に取り組んでまいります。